



二井あり、共に見るべく又其展望頗る佳にして香取ヶ浦、十六島の風光、常總の翠岱一眸に集り、絶景筆紙の及ぶ所にあらず。

【十六島】 郡驛の西北一里餘、利根川の河口霞ヶ浦に接する處にあり、其風光頗るよく、又其附近新島の加藤洲に十二橋の勝を有す、此地避暑に好適なり。

○常盤の風色 (常盤線)

【布施辨財天】 我孫子驛より八丁、富勢村大字布施にあり、傳へ云ふ、往古此地一帯に沼地なりしが、大道年間蛟龍沼中より土塊を捧げて現はれ一島を作る、後一人の里人、夢想到感じ其島上より一體の辨財天を得、島中に祀りて朝夕深く信仰しけるに、偶ま弘法大師此地に巡錫し、其事を聞きて訝しみ、像を一見すれば往年但馬國朝來郡筒江に安置せし自作のものなりしより大に驚き、直ちに朝廷に請願して伽藍を創建するに至りしなりと、地は利根川畔にありて風色佳絶なり

【西子岡公園】 土浦驛附近にあり、園内八景を有す、霞ヶ浦の歸帆、田面の落



雁、小松の秋月、照井の晚鐘、錢龜の夕照、田村の夜雨、高津の晴嵐、筑波の暮雪是なり。

【霞ヶ浦】 常陸國南部の大湖なり、東西七里餘、南北六里三十餘丁、周圍三十里餘を有し、其沿岸至る處風光佳絶を極む、是れを廻るには土浦よりするを順路とす。

【筑波山】 國中唯一の靈山にして男女二體の兩峰より成る、山頂より常總の平野、兩毛の峻峰を雲霧の間に、又た利根、鬼怒の諸川は帶の如く一眸の下に收め頗る眺望に富む、其他山中に名蹟多く、老樹茂りて幽邃を極め、旅館は其間に介在して夏季避暑客に利便を與ふ。

【常盤公園】 水戸驛より約二十丁餘の地にあり、天保十年水戸烈公が遊息所として是を拓き、衆庶と偕に樂しむとの意を以て偕樂園と名けられし處なり、城内殆んど三萬坪を有し、樹木泉石の配置悉く妙を極め、日本三公園の一たる名實に

空しからず。

【第二公園】 同じく水戸市にあり、第二の名、常盤公園に對して附す、園は常盤公園の雅致無しと雖も、又た一種見るべきもの無きにあらず。

【大洗海水浴】 水戸市の西南三里餘、磯濱寺の東北海岸にあり、其風光の明媚なる偕樂園と共に常陸の名勝に稱せらるゝ處、海に臨んで大旅館設けられ、又た附近名勝としては鬼洗の澤、琴引の瀧、烏帽子岩、磯濱八景等其他乏しからず。

【助川海水浴】 助川驛より十町餘の海濱なり、盛夏尙暑からず、避暑地として又好適す、附近には水車の瀧、八幡の清水等あり。

【磯原遠見所】 磯原驛の附近にあり、位地高く、東南の外洋一眸の下に俯瞰し得て頗る絶景なり、又天妃山は北數丁、大北川の河口に位す、累々たる岩石は海中に屹立して怒濤と闘ふの状甚だ壯觀を極む。

【關本驛附近の鑛泉】 驛より八丁の地に岩花冷泉あり、同十數丁に關山鑛泉あり、又一里の山間に湯網温泉湧出す、其他名勝として平瀉の勝、五浦の奇窟鑛泉洞は何れも遠からず。

【湯本温泉】 湯本驛より數丁の地にあり、四邊の風光又た佳絶なり。

○二荒の山靈 (東北線)

【思川の鮎】 思川は小山驛より數丁にして至るべし、河岸の風光頗る雅致に富み、鮎魚の佳味なる又多摩川の比にあらず、毎年夏季に至らば沿岸是れが遊船を整へ遊客を待つものあり、賃金甚だ廉なり。

【宇都宮公園】 宇都宮市内、白ヶ峰にあり、地は丘陵を爲せる爲め四圍の展望よく、近くは市内の光景を眼下に、遠くは富士筑波の諸峯を一陣の裡に集む、園内に二荒山神社存す。

【大谷観音】 宇都宮驛より五十丁餘、城山村字荒針にあり(驛より輕便鐵道通す)寺は阪東十九番の靈場にして弘法大師自作の觀世音、高さ六丈に越へたるを

本尊とす、地は奇岩崎々たる山内にありて岩窟洞門の多き、恰も險ならざる妙義山の如き趣あり。

線は宇都宮に岐れて一は磐城に一は日光に至るなり、先づ日光より説かん。

【鹿沼町】宇都宮より第二次の驛にして郡役所の所在地なり、舊例幣使街道の要路に當り、是れより以西、日光に至る間古杉の街道に排列せるを見る、又た天文年間壬生綱重が創建にかゝる二荒山神の社殿は今尚町端にありて境地甚だ幽邃を極む。

【中岩橋】今市驛の北二里、日光、高原兩山間の溪流、即ち鬼怒川の源泉たる處に架す、古松奇岩に蟠り、激湍岩を噛んで飛沫散亂せる上部、些の支柱を用ひず横はる状、甚だ奇觀を極め、殊に四邊の風色と俟つて其雅趣筆紙に盡し難し。

【日光神社】世俗に云ふ「日光知らずに結構云ふな」と、されば日光の結構なること云ふは今更贅なるべければ、茲に只だ其拜觀すべきものゝ主なる項目を擧



げんに、神橋、輪王寺、双輪塔、黒田長政献納の華表、二王門、五重塔、三神庫の彫刻、御手洗石盤、唐銅鳥居、南蠻鐵燈籠、飛越の獅子、諸家献納の燈籠、朝鮮献納の廻燈籠火屋、陽明門、唐門、猫門、及び宏壯森嚴なる奥の院等を推すべく、其他此間に介在して幾多目を眩せしむるものあり、又二荒山神社は東照廟表門の西一丁餘に、三代家光將軍の廟は東照廟と共に輪奐の美を盡して餘りなし。

【日光公園】壯嚴なる東照廟の西南、朝陽館の西にあり、是又林泉の美を極め粹を抜きしものなることは云ふ迄もなし、夫れより一道の石階を辿れば十數丁にして行者堂に達す。

【瀧の尾】行者堂より二三丁下にあり、一に白糸の瀧と云ふ、蓋し其狀線糸を繰るが如くなるを以て此名を附す、傍らに權現社の一字存し、社脊に子種石、涙の泉、三本杉等の勝あり、稻荷川は此の本を流る。

【霧降瀑】稻荷川を經ぎ、更に一溪流を渡つて行くこと里餘、赤蘆山の東麓に





あり、是れ日光三大瀑布の一にして、其形二段に別ち、上段を一の瀧、下段を二の瀧と云ふ、其南端深谷に望みて瀧見臺を設く、此處より全景を望まば四邊の風先を併せて一陣に收め頗る佳絶を極む、此他山中有名なるは寂光の七瀑、裏見の瀧、方等の瀧、般若の瀧、華嚴の瀧、含滿ヶ淵、中禪寺湖等とす。

【湯本温泉】 中禪寺より三里、神橋を去ること六里の地にあり、湧出するもの凡て十、何れも硫黄泉に屬し、其効顯諸症に適すと云ふ、地は海拔四千尺の高所にありて、盛多尙八十度を上りしこと無しと、又此地を去ること數里、栗山村字川俣に川俣温泉あり、川俣を去る三里餘に日光澤温泉あり、何れも鹽類硫黄泉に屬し効果顯著なりと雖も土地僻鄙なるが爲め入浴する者稀なり。

日光線は是を以て終り、是れより再び宇都宮以東を説く

【鹽原温泉】 西那須野驛より西北五里半、僅かに人車通ず、此途次幾多の奇岩奇勝、瀑布交々至り、殆んど送迎に遑なく、大綱、岩の湯、冷の湯、淡の湯、裸



の湯、鹽釜等の温泉も其道にあり、鹽原は古町に不動の湯、中の湯、中山の湯、角の湯、瀧の湯、御所の湯の六湯を有する外、夫れより二里弱、喜十六山の半腹に新湯あり、何れも鹽類泉に屬し胃腸、痲瘋質斯、神経痛、婦人生殖器病、傷瘍腫物等に特効を有す。

【那須温泉】 那須岳山麓に湧出するもの凡て九湯あり、是れを總括して那須温泉と云ふ、何れも硫黄泉を帯びたる酸性泉にして効果諸病に顯著なりと古來より云ひ傳ふ、順路は黒磯驛よりせば人車馬車の便を有す、里程は其内湯本の湯最も近く、驛より四里餘、高雄股は湯本より十二丁、辨天湯は湯本より更に道を北にして三十丁、北温泉は辨天の東十八丁(深山の間)にあり、大丸温泉は是より險道を攀じて西に向ふこと十數丁、其他の諸湯は各所に散在せり、因に此地概して物價安く、人戸は殆んど旅宿を業とす。

奥羽地方

總説

奥羽地方は關東地方の東北より本州の北端に至る磐城、岩代、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後の七ヶ國を總括したるものにて、是れを行政上區劃すること福島宮城、岩手、青森、秋田、山形の六縣とす、鐵路の交通は常陸より入りて東海岸に沿ひ岩沼驛に至る常盤線、下野より入りて岩沼驛に常盤線に合し、尙東部を北進して青森驛に至る東北本線、同線福島驛より岐れて其西部を北進し、青森驛に於て東北本線に合せる奥羽本線、其他東北本線郡山驛より分岐して山都に至る岩越線及び尻内驛より溱に至る支線等とし、水運は青森港を初め各地沿岸に汽船の碇泊する處頗る多し。

○奥の細道

(常盤、東北奥羽の三線)

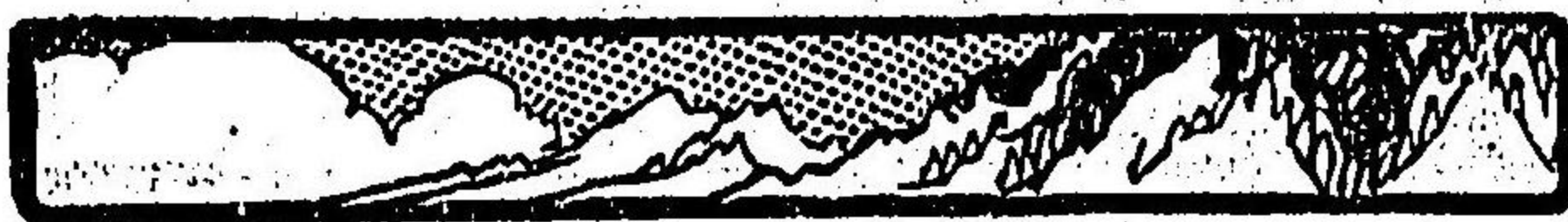


【勿來關趾】「ふく風をなこそ關と思へども道もせにちる山さくらかな」と源義家の歌によつて其名人口に膾炙する勿來關は勿來驛の西南十五丁の地にあり、驛より關趾に至る一帯の海岸は翠松連続し碧波漣を寄する處眞帆片帆の水鳥に混じて頗る展望の美をとむ。

【専稱寺】平驛の東方一里餘、夏井村宇山崎にあり、應永年間の創建にして淨土宗に屬し、嘗て後土御門帝の勅願所とせられ、奥州總本山の名を賜へりと云ふ寺域廣く東は遠く海濱に接し、眺望佳なり。

【八莖村の瀧】平町の東北約二里餘、大野村字八莖にあり、落下するもの二、一を逢瀬の瀧と云ひ高さ七丈五尺、一を松風瀧と云ひ高さ六丈餘、共に絶壁にかゝり輕踏の音十數丁に達す。

【四ツ倉の瀧】木奴美ヶ浦、又た久之瀧とも云ふ、四倉驛より東北數丁の海濱にして、垂枝の老松は點々白砂の長汀に蟠生し、掀翻せる怒濤は遙に白帆を送る



の景致關西の須磨、舞子に譲らず、夏季都人士の避暑、海水浴に來遊するもの多し。

【波立海岸】久之濱驛の東、大字田之網の海岸なり、岸汀奇岩怪窟の屹立するを隔て、遙かに渺茫たる外洋を望み、頗る壯觀を極む、附近に波立薬師堂あり、醫王山と號す、境内の眺望又大に見るべし。

【折木鑿泉】廣野驛の南一里、南澤の山麓にあり、泉は路傍の岩隙より湧出するも冷泉なれば浴槽に汲み取り、湧して浴客に供ふ、宿舎は傍ら農を業とし、人心素朴にして物價低廉なり。

【岩澤觀音】木戸驛より十町餘、岩澤川に浴へる斷崖の中央にあり、往昔弘法大師が此地に來遊して一夜に彫みたるものなりと傳ふ。

【請戸海水浴】長塚驛の東北數町、請戸港の海岸にあり、地は舊時相馬の名港として船舶の出入頻繁なりしも、今は稍衰へたり、されど風光の明媚なること沿

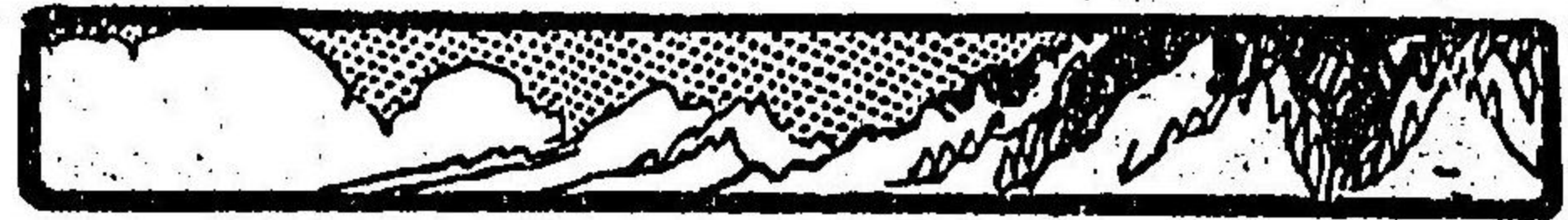


線中他に比するもの妙く、有名なる金華山、小磯の濱に敢て遜色なし、毎年此地に海水浴場開かる。

【八津浦八景】鹿島驛の東北海濱八津浦にあり、海潮長く灣入したる處、鷺宮崎、長岩、龜岩、奥法師、鹽屋煙、神樂力岩、大明神、水神の高谷地の八景を有し其風光頗る明媚なり。

【原釜海水浴】中村驛より一里餘にあり、數町に渉る長汀、波穩かに水深からず遙かに金華山の翠貌を望み風光甚だよく、海水浴地として最も適す。

【松川浦】中村驛の東、宇多川の河口開けて瀉湖をなし、瀉湖の外洋に接する處、鶴尾岬、松ヶ枝の鼻を以て是れを擁し其風光の佳絶なる筆紙に盡し難し、内に十二勝あり即ち松川浦、水莖山、飛島の港、松沼の濱、雌崎、川添の森、文字島、紅葉岡、沖ヶ島、梅川、鶴巢野、長洲の磯等を云ひ、其他鶴の尾岬の一端、夕顔觀音あり、歩一步地を異にする毎に變化に富み、雅致奇勝言語に絶す（中村



驛より二十丁、松が浦に遊覧船を備ひ得、是れによつて勝を探るべし。
【鳥の海々水浴】 亘理驛より三十町、鳥海灣の北岸にあり、波高からず、眺望よし。

常盤線は是より東北線岩沼驛に合す、されば以下「關東地方東北線」に次ぎて下野の國境より述べん

【南湖】 白河町の南十八丁餘、小鹿山腹にあり、一に關の湖と稱へ、周圍二十餘丁、湖心に小島あり、湖畔に共樂亭ありて頗る雅致に富む、湖は久しく廢池たりしも寛政の頃白河樂翁公が更らに開鑿したるもの、由にて湖の南岸に其經營の一端を記したる碑を建てり、又た十六景十七勝を有す、十六景は共樂亭、明鏡山、萬花岸、濯錦岡、鳴秋原、玉花泉、松濤里、問月嶺、逗月浦、兼葭洲、玉女島、使君堤、鹿鳴峰、曉月浦、五往村、一字の松等にして各一詩を賦し、十七勝は關の湖、共樂亭、鏡山、眞萩ヶ浦、錦岡、松由の原、常盤清水、松風の里、月待山、月見の浦、下根島、御影島、千歳堤、小鹿山、有明崎、八聲村、千代の松



原と稱へ各々一首の和歌を石に刻して湖畔に建つ。

【白河の關趾】 日本三關の一として、又能因法師が詠みし「都をば霞と共に立ちしかと、秋風ぞ吹く白河の關」の和歌によつて有名なる同地は白河驛の南二里半、古關村字旗宿にあり、今は趾に關趾の碑を建て關守の内館なりし處に村社白河神社を祀る、敢て避暑地として指摘するにあらざるも地は幽邃掬するに足れば數時の閑を割きて探るべし。

【甲子温泉】 白河町より西方五里二十餘丁、西郷村の山間にあり、泉質は鹽類泉に屬し、胃、腸、肺、佝麻質斯等に特效ある外、地は阿武隈の清流に沿ひ、高燥にして深遠なれば避暑攝生に最も適す、附近に高さ三十餘丈の大熊雄瀧を初め其他大小諸種の落下するもの多く頗る壯觀を極む。

【乙字の瀧】 須賀川驛より石川驛に至る途次一里餘、泉村字龍崎にあり、阿武隈の奔流断崖に臨みて落下するものにて幅員頗る廣く、小ナイヤガラ瀑布の如く



其壯觀一見の値あるべし。

岩越線は郡山より東北に分岐して會津地方に入り、更に越後新潟に至るべき設計なれども現在は山都驛を以て假りに終點とせり、東北線郡山以北に先づ是より脱かん

【熱海温泉】 高川村字高玉にあり、熱海驛に下車すれば直ちに至るべし、湯は

田畑の低地より湧出し温度高からざるを以て別に人工温湯を設く、泉質は炭酸泉に屬し下部の病症に特效あり。

【沼上の瀧】 山瀨驛の附近にあり、沼上水力電氣發電用たる安積疏水の落下するものにて、高さ十四丈五尺、是れを沼上の瀧と名くるなり。

【猪苗代湖】 奥羽地方に於ける名湖にして其廣袤東西三里餘、南北二里餘、周圍十三里十餘丁を有し、安積 耶麻、北會津の三郡に渉る、湖中翁島、十六橋等の勝地あり、若し夫れ風無く碧空一點の雲をとめざるの日、岸頭に立ちて湖面を見れば碧水油の如く、近くは湖畔の翠色、遠くは磐梯以下の連峯倒まに映じて壯



觀言ふべからず、因みに湖の勝を探らんには山瀨驛に下車するをよしとす。

【磐梯山】 海拔六千四百八十餘尺、周圍十五里餘を有し、山嶺は大磐梯、小磐梯、櫛ヶ峯、赤埴の四峯に別る、登山は猪苗代驛よりするをよしとす、絶頂に磐梯神社を祀る、路は山腹より順かに険しければ、木を攀ち岩に縋るの意氣なくば登るを得ずと雖も、山頂に至らば白雲脚下に舞ひ、爽氣心裡を衝いて其快狀口にすべからず。

【若松城址】 市の南端にあり、一に鶴ヶ城と云ふ、白虎隊の志士と共に有名な處、今は僅かに其殘壘を残し、旅客をして往時の事蹟を偲ばしむるのみ、又白虎隊の墓は其難に殉じたる飯盛山に樹ち、十九士の木像は墳墓の下、蝶螺堂の西側宇賀神堂に安置す、地は何れも展望の勝に富む、探勝の傍ら弔ふべし。

【東山温泉】 若松驛の東方一里餘、東山村にあり人車通ず、泉質は無色透明の鹽類泉に屬し諸症に効顯あり、地は東南北の三面翠巒を以て繞らし、東山々中伏



見の瀧、雨降りの瀧、金壺瀧、傘巖、屏風巖、羽黒神社、淨光寺、天寧寺等其他
飛泉數級ありて地は幽邃を極む。

【熱鹽温泉其他】 喜多方驛の北方二里にあり、熱鹽温泉の外、日中温泉、大鹽
温泉等何れも鹽類泉に屬し肺、氣管支加答兒、胃腹病等に特效あり。

【檜原湖】 喜多方驛の東北約六里にあり、明治二十一年盤梯山破裂の際、其北
麓に生ぜし小湖中最も大なるものなり、湖畔の風致又た捨つべきにあらず。

【岳下温泉】 一に深澤温泉と云ふ、二本松の西方二里餘、安達太郎山の山麓に
あり、されど設備未だ完からず。

【高湯温泉】 庭阪驛より二里にあり、鹽類泉に屬し慢性皮膚病、佝僂質斯等に
特效ありと云ふ、又た其南方二里餘に土湯温泉あり。

【長岡附近の温泉】 長岡驛より三十二丁に飯坂温泉（人車通じ、旅館の設備整
ふ）あり、又た飯坂と川を隔て、湯野温泉あり、湯野温泉より川に沿ふて上るこ

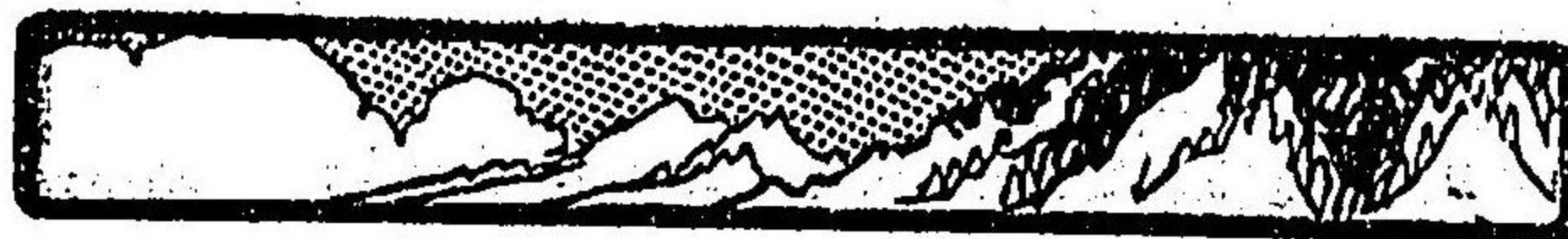


と二十丁に穴原温泉あり、何れも鹽類泉にして効顯高湯温泉と大差なし。

【鏝先温泉】 白石驛より一里半、兒捨川の上流にあり、地は四周に山を繞りた
れば人車通じ難きも頗る幽邃を極む、泉質は硫黄泉にして創傷、皮膚病等に特效
あり。

【遠刈田温泉】 白石驛より五里餘、遠刈田村にあり、人車馬車通ず、湧出する
もの六、何れもアルカリ泉にして胃腸、疝氣、脚氣、精神病、皮膚病等に適し、
旅館の設備又た殆んど完し。

【青根温泉】 大河原驛より七里十餘丁、又た遠刈田よりすれば一里餘、柴田郡
川崎村にあり、人車馬車通ず、湯は藏王岳の半腹に涌出し、大湯、瀧湯、上新湯
下新湯、名號の湯及び上等浴室の六室に別る、何れも鹽類泉に屬し、慢性佝僂質
斯、神経病、婦人生殖器病、腺病、皮膚病等に特效あり、旅館の設備稍完し、又
此地の西一里半に熾々温泉あり。



鐵道は岩沼に至つて常盤線に合し、是より南北に向ふ。

【秋保温泉】 増田驛の西北四里、秋保村字湯本にあり、泉質は鹽類泉に屬し、

胃、痲瘋質斯、脚氣、子宮、皮膚病、傷瘡等に特效あり、又是より三里餘、瀧の原の密林中に大瀧あり。

【經ヶ峯靈廟】 仙臺市の西端、青葉城の南方にあり、伊達家三代の廟宇ある所にて、老樹の鬱蒼たるの下、廣瀬川の清流横はり、幽邃極りなし、廟は綠葉の裡

丹青の美を極めて建ち、満海上人の碑、殉難志士の墳塋等其附近に連る。

【岩切驛】 鹽竈線は此處に岐れて東方四里に至る、松島遊覽者は鹽竈より舟楫の便をかり金華山を経て島めぐりを試むもよし、驛より有名なる壺の碑まで約一

里半、避暑には關せざるも途次一見すべし。

【鹽竈神社】 岩切驛より分岐したる鹽竈驛の西方五丁餘にあり、武甕槌命、經津主命の二神を奉祀し、別宮に岐神祭り三座を合して奥州一の宮鹽竈大明神と云



ふ、此地より松島を遙かに望み得べし。

【松島】 今更ら説く迄も無く、三尺の兒童も既に其名勝たるを知る、是れが遊覽は鹽竈より舟を浮べるもよく、又た本線松島驛より下車するも可なり、然れど

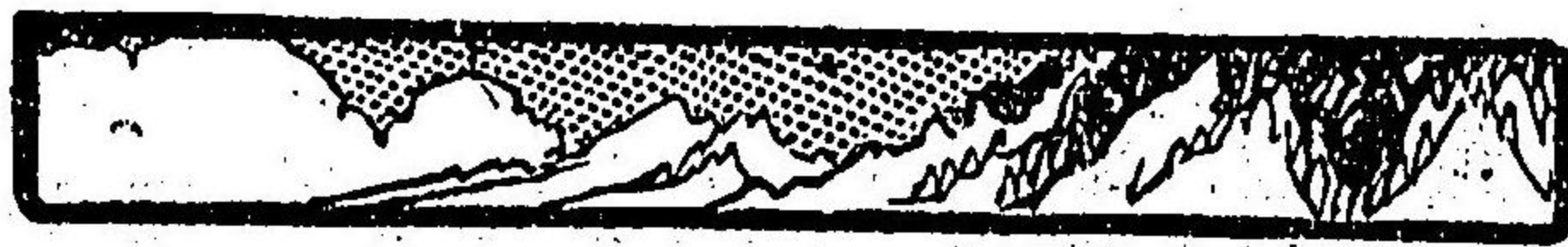
も其實勝を知らんと思は、四大觀と稱する扇溪、大鷹森、富山、多聞山の何れかよりするを最も佳なりとす、扇溪は松島村と鹽竈村の中間にある丘上、大鷹森は

宮古島大平山の山頂、富山は東灣北松島村字手樽にあり、多聞山は灣の南端、馬放島上を云ふ、何れも展望よく、其全景を一眸に集むるを得べし、其他瑞巖寺、

觀瀾亭、五大堂等著名なり。

【温泉八湯】 玉造郡温泉村にあり、全村を通じて湧出するもの殆んど無數にして枚擧に遑あらず、其内設備の整ひたるは川渡、田中、舊車、赤梅、新車、鳴子

河原、中山の八湯とす、而して此の八湯中更らに別れて三十餘湯となり、然も各湯泉質を異にすれば特效の如きも諸種に分れ、殆んど有ゆる泉質を洩羅して普通





温泉によつて全癒し得べき病症には悉く特効ありと云ふも過言にあらず（此地僻
 鄙に位すと雖も小牛田驛と馬車の連絡通じ、人車の交通又自在なるが上、客舎比
 較的清潔にして物價廉なり）

【鬼首五湯】 温泉村より追波川に沿ふて遡ること三里餘、鬼首村にあり、四圍
 山嶽を以て圍はれ交通便ならざれば來浴する者尠しと雖も、何れも名泉たるを失
 はず、就中吹上温泉の如きは間歇泉にして其泉源頗る奇觀を極め、本邦中伊豆熱
 海温泉と此の湯の二泉を有するのみなり、泉質は何れも鹽類泉に屬す。

【其他の温泉】 陸前に於ける上述以外の温泉としては築館町の西七里半花山村
 に温湯、湯の倉、湯の濱の三湯、仙臺の北七里、廣瀬村字作並に古湯、新湯の二
 湯、同じく西北四里半に定義温泉等あり。

【嚴美溪】 一の關驛より二里半、磐井川の上流五串村にあり、溪は深潭藍を湛
 へ老樹花木溪畔に蟠生して雅致深く、溪より一橋を隔て、小祠あり、小祠の傍ら



に飛瀑ありて更に風致を添ふ事多く、盛夏避暑によし、又た此地より二里を隔て
 字猪の岡に水山温泉あり、五里餘の地に酢川温泉あり、何れも道路險惡にして
 交通の便宜しからず。

【志戸平温泉】 花巻驛より附近を流る、豊澤川に沿ひて遡ること二里餘にあり
 車馬通ず、又大澤温泉は是れより數丁にありて源泉數ヶ所に別る、何れも岩石を
 穿ちて浴場とせり。

【鉛温泉】 大澤温泉より豊澤川に沿ふて尙遡ること一里餘にあり、山間なれど
 も浴舎旅宿稍整ふ、又是れより十數丁の地、即豊澤川の水源には飛瀑の懸崖より
 落下するもの多く、夏時浴客消閑の料として最も可なり。

【臺温泉】 花巻驛の西北二里餘にあり、驛より馬車を通ず。

【岩手山】 一に岩鷲山と云ふ、盛岡市の北約十里にあり、海拔六千八百餘尺を
 有し、其狀殆んど富士山に似たるを以て俗に南部富士とも稱ふ、山路峻險なるを



二百六
以て所々に鐵鎖を繋ぎ、以て登山者の便に備ふ、山の中腹、舊噴火坑内に岩手山神社あり、神体は大己貴命、稻倉魂命、日本武命の三神にして桓武帝の御宇、阪上田村麿の創立なりと云へり。

【湯田温泉】 福岡驛の北二里餘、馬淵川に沿ふて下らば其沿岸にあり、湯は田野より湧出するもの三、何れも鹽類泉にして皮膚病に特效ありと云ふ、附近に甲貝動物或は魚族の化石を出すこと夥し。

【三八城神社】 尻内驛より分岐したる支線、八戸町の舊城趾に祀る、社地に丘陵あり、四願の展望碧海山嶺一眸の下に集め、宛然一幅の繪畫を見るが如し。

【飯港の海水浴】 湊驛(支線の終點驛)の東一里餘の海岸なり、長汀灣港をなし港口に蕪島ありて波濤を避け、空氣清潔にして眺望頗る好ければ東北地方稀に見る良海水浴場なり(驛より車馬の便通す)。

【馬門温泉】 野邊地驛より二十丁、大字馬門にあり、甲乙二泉を有し共に無色

透明の鹽類泉に屬す。

【淺山温泉】 淺山驛より一丁、湯は椿湯、大湧の湯、裸の湯、柳の湯、目の湯鶴の湯、牝鹿の湯、他に一湯を合して凡て八箇所湧出す、質は鹽類泉に屬し諸症に卓効を有する外、四邊展望の美に富み、氣候盛夏暑からず嚴冬の候と雖も國中最も溫暖なれば奥羽地方に於ける避暑避寒の地として好適なり。

【青森公園】 一に今浦公園とも云ふ、青森驛より二十餘丁にあり、地は一帯に高ければ晴天津輕海峽を隔て、北海道の連山を雲煙の間に望み洵に風光の雅を添ゆ園内に招魂社あり。

東北線は青森驛を終點とし、是より奥羽線に接続す

○北日本の靈泉 (奥羽線)

【五色温泉】 板谷驛より二十丁餘、板谷山中にあり、泉質は無色透明の鹽類泉に屬す。





【滑川温泉】 峠驛より一里、板谷山中にあり、炭酸泉に屬す。

【姥湯温泉】 滑川温泉より三十餘丁、吾妻山の北方にあり、泉質は硫黄泉に屬す。

す。

【小野川温泉】 米澤驛の東南二里餘、小野川にあり、泉質は無色透明の鹽類泉に屬す。

に屬す。

【白布の高湯温泉】 米澤驛の南四里餘、吾妻山の山麓にあり。

【吾妻温泉】 米澤驛より四里餘、南原村字李山すもよまにあり。

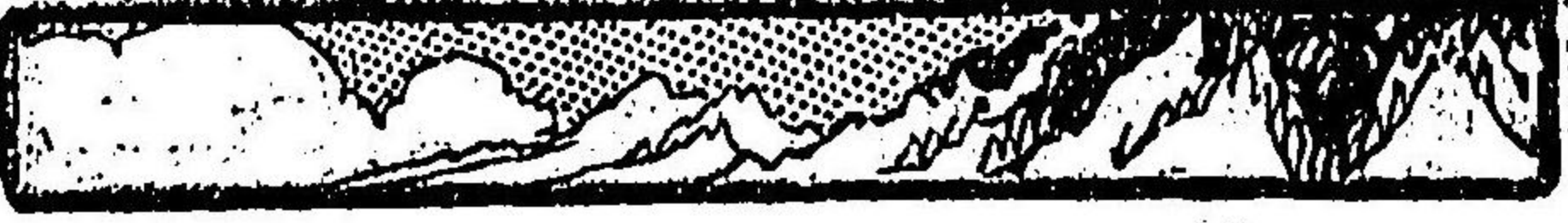
【赤湯温泉】 赤湯驛附近にあり、無色透明の鹽類泉にして大湯、丹波湯、井湯

森の湯の四湯を有す。

【高湯温泉】 山形驛より四里餘、高湯村にあり、無色透明の酸性泉に屬す。

【淵見温泉】 舟形驛より三里餘、尿前越しんまへこえにあり、痒疹いぜんの湯、藥研やけんの湯の二湯を

有し無色透明の鹽類泉なり。



【肱折温泉】 新庄驛より五里餘、大藏村字南山の山中にあり、炭酸泉に屬す。

【今神温泉】 肱折温泉の西北一里、角川村字長倉にあり。

【田川温泉】 新庄驛の西方十里餘、湯田川にあり。

【湯の濱温泉】 日本海に瀕する加茂港より北方半里の海岸にあり。

本書所載の温泉及其設備等は本邦中有名なるもの、或は交通機關の完備したるものを努めて蒐録したりと雖も尙多少の遺洩なきを保せず、識者幸に御教示を垂給はゞ次版に於て補訂すべし

附 録

○避暑遊覽の割引乗車券案内

鐵道院にて避暑旅客の便を計り、夏季中往復割引券を發賣す、其主なるもの左の如し

【伊勢回遊】發賣驛より山田驛に、同驛より伊勢電鐵と連絡し内外宮に參拜して歸着するものにて毎月一日、及び大祭祝日と其前日及び土曜、日曜日に左記各驛に於て發賣す、通用七日間。

▲大阪湊町間各驛より 三等貳圓九拾錢、二等四圓貳拾五錢。

▲京都より 三等貳圓八拾錢、二等四圓〇五錢。

▲三宮、神戸、兵庫の各驛より 三等參圓參拾五錢、二等四圓九拾五錢。

▲馬場、大津より 三等貳圓四拾錢、二等參圓四拾五錢。

▲名古屋より 三等貳圓參拾五錢、二等參圓四拾錢。

【鳥羽海水浴行】避暑海水浴客の爲め大阪各驛より三重縣二見及び鳥羽行往復乗車券三等貳圓八拾錢、二等四圓貳拾錢を以て發賣す、通用五日間、尙京都、名古屋兩驛よりも割引あり。

【石山大津廻遊】發賣驛より石山及大津驛にて湖南汽船と連絡し、附近の名勝を探ぐるものとす。

▲大阪各驛より 三等壹圓拾錢、二等壹圓六拾錢。

▲京都驛より 三等四拾錢、二等五拾五錢。

▲三宮、神戸、兵庫の各驛より 三等壹圓六拾錢、二等貳圓參拾五錢。

【湖南廻遊】石山及び大津驛にて湖南汽船に連絡し、阪本、唐崎、膳所、粟津、瀬田、石山、南郷を廻遊して歸着す、通用五日間。



▲大阪各驛より 三等壹圓參拾錢、二等壹圓八拾錢。

▲京都驛より 三等六拾錢、二等七拾五錢。

▲神戸各驛より 三等壹圓八拾錢、二等貳圓五拾五錢。

【竹生島、彦根、石山廻遊】 湖南廻遊と同様の方法を以て以上三勝を廻る、通

用京都驛よりは五日間、其他は七日間。

▲大阪各驛より 三等壹圓九拾五錢、二等貳圓九拾錢。

▲京都より 三等壹圓參拾五錢、二等壹圓九拾錢。

▲神戸各驛より 三等貳圓四拾錢、二等參圓六拾錢。

【保津川遊覽】 發賣驛より龜岡驛に至り、保津川遊船會社遊覽船によりて保津

川を下り、嵯峨驛より乗車して歸着するもの、通用期限、京都、二條の兩驛は三

日間、其他は五日間。

▲大阪より 三等壹圓七拾五錢、二等貳圓貳拾五錢。



▲京都より 三等壹圓、二等壹圓拾五錢。

▲二條より 三等九拾五錢、二等壹圓五錢。

▲大阪より 三等壹圓七拾五錢、二等貳圓貳拾五錢。

▲神戸より 三等貳圓貳拾五錢、二等參圓。

【有馬温泉行】 三田驛に下車し、同驛より有馬迄の往復人車料を含む、通用十

四日間。

▲大阪より 三等壹圓六拾六錢、二等貳圓四錢。

▲京都より 三等貳圓四拾四錢、二等三圓貳拾壹錢。

▲神戸より 三等貳圓〇貳錢、二等貳圓五拾八錢。

【笠置行往復】 毎月一、十五の兩日及び土曜、日曜、大祭祝日に大阪各驛より

發賣す、通用期限は三日間にして三等壹圓拾錢、二等壹圓六拾五錢。

【天橋遊覽】 發賣驛より舞鶴迄、舞鶴より連絡船によつて宮津に至り、遊覽後



歸着するものにて通用七日間。

▲大阪より 三等貳圓七拾錢、二等四圓。

▲神戸より 三等三圓、二等四圓五拾錢。

▲嚴島、錦帯橋遊覽 毎土曜、日曜、及び大祭祝日と其前日に發賣す、通用期限七日間。

▲大阪より 三等四圓三拾錢、二等六圓三拾八錢。

▲京都より 三等四圓六拾錢、二等六圓七拾八錢。

▲神戸各驛より 三等四圓拾錢、二等六圓〇八錢。

▲道後温泉行 宇品港にて連絡汽船により高濱上陸、同地より松山驛を経て道

後に至るものにて通用期限十四日間とす。

▲大阪より 三等五圓六拾五錢、二等九圓貳拾六錢。

▲神戸、三宮の兩驛より 三等四圓九拾六錢、二等八圓〇六錢。

以上は京阪地方を起點としての割引券にして四部管理局の管轄によるもの、又東京を起點としたる中部線の割引中、其主なるものは

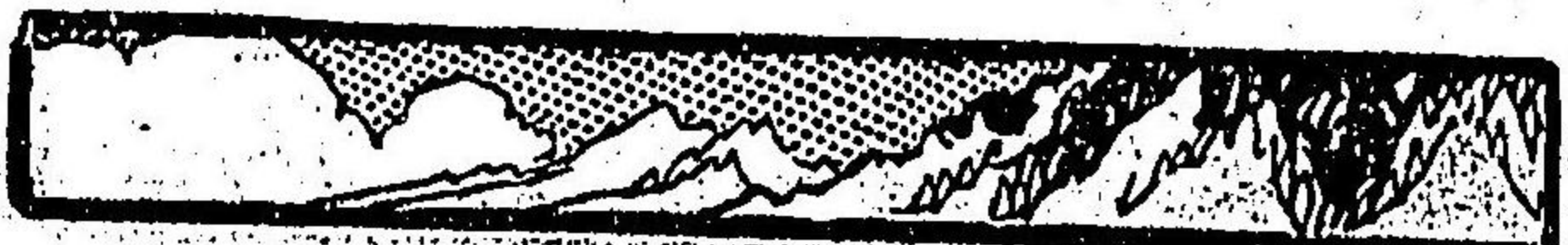
【木曾探勝】 東京の各驛、横濱、平沼等より發賣す、通用十二日間、三等四圓六拾錢、二等七圓。

【富士登山】 東海道線、中央線の各主要驛より發賣す、二三等共御殿場、佐野富士、鈴川、大月の各驛行二割引とし、通用期限は普通期間に三日間を加算す。

【北陸信越廻遊】 東京各驛より中央線又は東海道線を経て北陸線泊驛に至り陸行或は汽船にて直江津より歸着するものにて通用期間十四日間、三等五圓貳拾錢、二等八圓五拾錢。

【甲信勝地遊覽】 東京各線より中央線を経て長野に至りて歸着するもの、通用十日間、三等三圓六拾四錢、二等五圓七拾五錢。

【其他】 富士川遊覽、日光遊覽、多摩川鮎漁、入間川鮎漁、馬入川鮎漁、江ノ



島鎌倉遊覽、興津、江尻、鯨波等の海水浴、濱名湖、辨天島海水浴、知多半島、
篠島、日間ヶ島、師崎の海水浴、豊川線牛の淵遊覽、養老遊覽、山中、山代、粟
津、片山津、芦原、和倉、修善寺、諏訪、箱根、熱海各温泉行に夫れ々割引を
り、詳細最寄驛に就て聞合すれば可なり。

避暑と温泉終

避暑と温泉

明治四十四年八月二十日印刷
明治四十四年八月廿五日發行

著 者 野 田 桂 華

大坂市南區末吉橋通四丁目八十六番邸

發 行 者 大 淵 浪

大坂市南區堀町通三丁目四十一番邸

印 刷 者 吉 村 源 次 郎

大坂市心齋橋北詰八十六番邸

發 行 所 駸々堂旅行案内

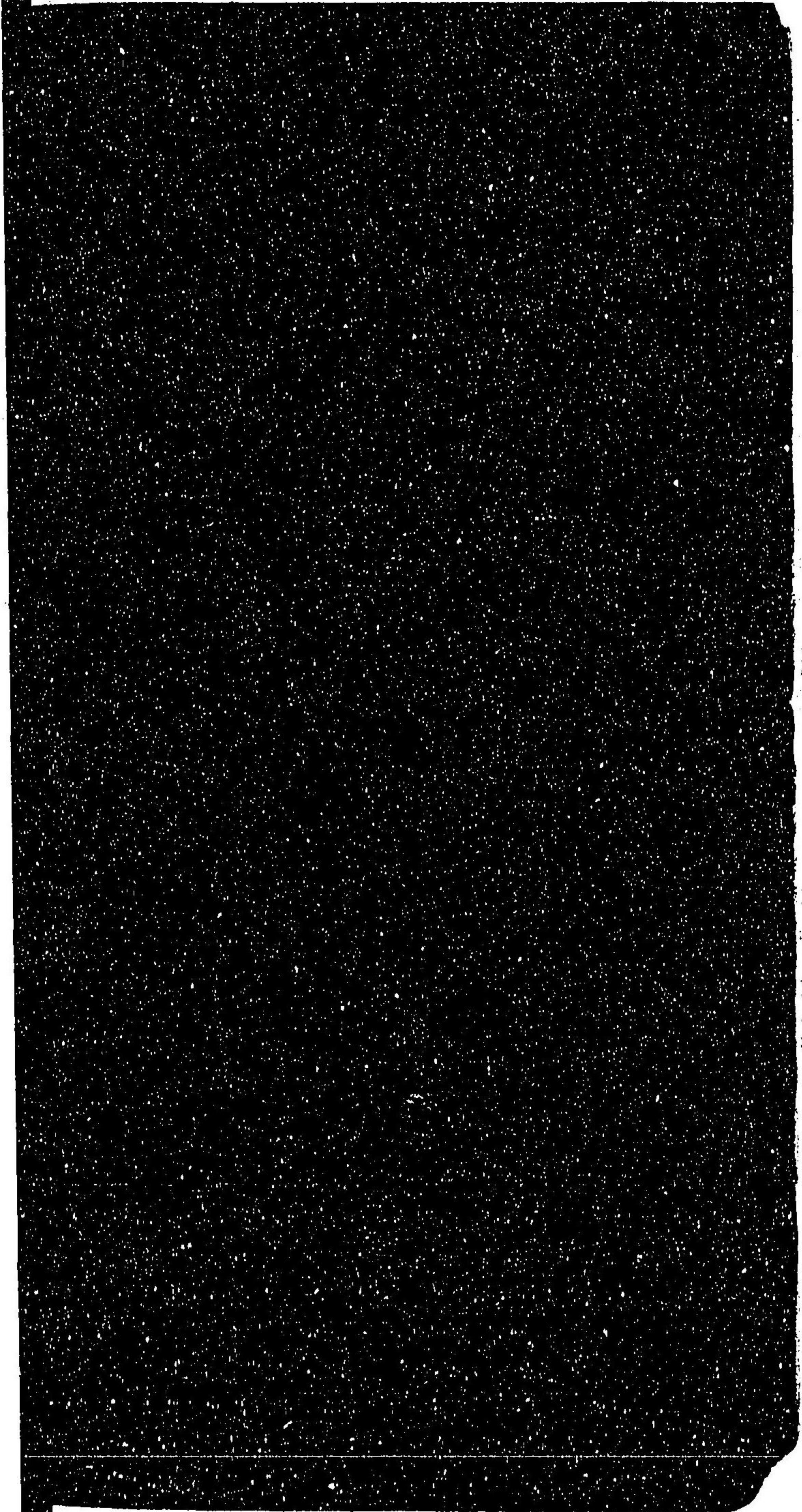




Vertical columns of text in Chinese characters, arranged in a traditional right-to-left reading order. The text is arranged in approximately 10 columns. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely, but they appear to be a form of classical or historical Chinese script. There are some larger characters interspersed among the smaller ones, possibly serving as section markers or titles.



268
273



023072-000-5

特30-249

避暑と温泉

野田 桂華 / 著

M44

ADB-1078

